

別府港海岸施設計画検討の概要

近年の海岸利用を取り巻く状況を鑑みると、一般的な課題として「海は危険との認識による、人と海との関係の希薄化」、「海水浴シーズンのみの利用に特化した季節偏重、サーフィン等の特定種目に限定した種目偏重」ということがいえます。これに対し、国土交通省では平成14年度から新しい海辺利用のあり方を検討・促進する「新たな海辺の文化創造プロジェクト」を推進しています。別府港海岸においても現在整備中の餅ヶ浜地区をはじめとした海岸の利活用について、地元で活動している団体の代表者等をメンバーとした検討会を組織し、利用目標・利用項目・維持管理体制等の検討を進め、「利活用基本方針」を策定していくとしています。

そこで、平成18年9月28日（木）に「第1回別府港海岸施設計画検討会」を開催し、委員の皆様から利活用に関する提案・意見を伺いました。

「利活用基本方針」の策定にむけて

「別府港海岸施設計画検討会」は、利活用基本方針の策定に向けて、別府港海岸全体を対象に以下の項目を検討するものです。

■施設計画検討対象地域

現在、高潮対策事業として計画・整備中の別府港海岸の3地区（餅ヶ浜地区、北浜地区、上人ヶ浜地区）が対象です。但し、利用の観点からの検討のため、関の江海水浴場、観光港、SPAビーチを含めた連続性も念頭に検討を行います。

■「利活用基本方針」策定の目的

- 別府港海岸を、別府の観光資源として有効かつ通年的に利用するための方針を策定する。
- 別府港海岸の供用開始後、円滑な市民利活用に移行できるよう、あらかじめ運用ルールや管理上必要な要件を定めておく。

■「利活用基本方針」の項目

- ①利活用の目標の設定
- ②利活用メニューの選定
- ③施設の管理・運用方針

別府港海岸施設計画検討会委員名簿

◎小方 昌勝	立命館アジア太平洋大学 教授	三代 清六	大分県土木建築部港湾課 参事
内田 一章	別府市都市計画課 課長	村上 太陽	音泉タウン実行委員会
尾田 智史	NPOウォーターセーフティマネジメント協会 代表	山川 浩平	別府市観光協会
金子 誠次	大分県別府土木事務所 次長		※◎印は組織の座長、敬称略・五十音順
小出 英治	別府外洋ヨットクラブ 会長		(国土交通省関係者)
佐藤 祐子	BEPPU PROJECT STAFF	久保 敏哉	国土交通省九州地方整備局 港湾空港
末廣 和博	別府市商工会議所 事務局長		防災・危機管理課 課長補佐
菅 健一	NPO別府八湯トラスト 代表理事	梅崎 康浩	国土交通省九州地方整備局 別府港湾・
平野 芳弘	別府市観光経済部 次長		空港整備事務所 副所長

お知らせ

第8回ワークショップは、別府港海岸施設の利活用に関するご意見・ご要望等をお聞きするために、1月中旬に開催する予定です。詳細は後日ご案内させていただきます。奮ってご参加ください。

※別府港海岸の整備に関する情報は下記別府港湾・空港整備事務所ホームページに随時掲載していきます。是非ご覧下さい。
http://www.beppu-port.go.jp/

第1回 別府港海岸施設計画検討会 会次第

1. 開会
2. 発注者挨拶
3. 委員紹介
4. 座長挨拶
5. 議事
 - 5.1 検討会の進め方の説明
 - 5.2 各地区の整備計画の概要説明
 - 5.3 利活用基本方針（案）説明
 - 5.4 審議・意見交換
6. その他
7. 閉会



第1回検討会の様子



小方座長

別府里浜づくり新聞

第16号
平成18年
11月2日

第7回別府港海岸づくりワークショップで別府港海岸の利活用についての検討を行いました



第7回別府港海岸づくりワークショップ（平成18年10月2日19時より大分国際交流会館にて開催）では、これまでに行ってきた北浜地区2の整備計画検討に加え、別府港海岸施設の利活用について参加者の方からご意見を頂きました。

利活用については、別途実施している別府港海岸施設計画検討の概要を説明するとともに、9月28日（木）に開催した「第1回別府港海岸施設計画検討会」（座長：小方昌勝立命館アジア太平洋大学教授）での検討内容の報告を行いました。その後、参加者の皆さんは2つのグループに分かれて、これからの海岸の利活用について相互に意見を交わしていただきました。

別府港海岸施設の利活用について

これまで『里浜づくり新聞』で紹介してきたとおり、別府港海岸では、「上人ヶ浜地区」「餅ヶ浜地区」「北浜地区」の3地区で高潮対策事業を進めており、防護・利用・環境・景観に配慮した海岸づくりを目指し、構想段階から住民参加型で検討を行っています。そして現在、「餅ヶ浜地区」は着工し、「北浜地区2」では計画案策定の最終段階に入っているところです。

このような状況を踏まえ、当事務所では別府市と共同で、完成後の海岸施設の利用に向けて、海岸施設の有効活用方策や、円滑な市民の利活用に供するための運用ルール、維持管理方策等について地域住民の方の意見を取り入れながら検討を進めています。方法としては、ワークショップでの意見聴取に加え、地元活動団体へのアンケート調査を実施し、それを参考にして別途組織する検討会で議論します。

利活用に関する意見の概要

「第1回別府港海岸施設計画検討会」において議論された利活用に関する意見は、「海岸の利用」「ゴミの問題」「安全性、治安の問題」「イベント」「海岸の利用に対する期待」の5テーマに分類され、これを踏まえてワークショップでグループ討議を行いました。

- 各テーマでの主な意見は、以下の通りです。
- ①「海岸の利用」については、散歩・散策・ジョギングのニーズが高いこと、別府港海岸の地区ごとの横の連携の必要性があげられました。
 - ②「ゴミ問題」については、漂着ゴミやポイ捨てゴミが重大な問題であるとの認識が強く、対応方策の必要性が指摘されました。
 - ③「安全性、治安の問題」については、ホームレス等の不法占用や破壊行為などにより、必ずしも市民が近づき、親しみやすい海岸になっていないとの意見がありました。
 - ④「イベント」については、検討会の参加者の中に実際にイベントを実施している団体も多いため、海岸整備後のイベント利用への期待の大きさが述べられました。
 - ⑤「海岸の利用に対する期待」については、課題として挙げられた内容の解決が期待につながるという面もありますが、市民による管理運営、行政的な取り組みの整備、観光促進面の期待などの意見もあげられました。



利活用検討の説明の様子



グループ討議の説明をする菅座長

検討会とワークショップにおける意見の内容

海岸整備後の施設の利活用について、検討会とワークショップで頂いたご意見やご要望は以下の通りです。ワークショップでは、地区別にご意見を伺いました。
(破線の上は検討会の意見、下はワークショップの意見です。)

①海岸の利用について

- 市民の利用ニーズは「散歩、散策、ジョギング」が高い。
- 海岸線の連続性のなさが課題。
- 別府へ連泊してもらう仕掛けを海岸につくりたい。
- 海があるのに釣り場所等がない。

【全体】

- ・屋根のある施設や木陰など海をながめてゆっくりできる場所が欲しい。

【上人ヶ浜】

- ・自然とふれあえる（遊び）海辺空間が必要である。
- ・上人ヶ浜公園との連続性を確保する。
- ・唯一の自然磯の海岸としての活用。
- ・海の生物も多く磯遊びが可能であることが重要。
- ・ドッグランが出来る環境が欲しい。

【餅ヶ浜】

- ・オリアナ栈橋のレジャー・釣りへの活用。
- ・バーベキュー施設が欲しい。
- ・スパビーチの砂流出の対応が必要。
- ・学校（小・中）の課外活動拠点に活用。

【北浜】

- ・隣接するヨットハーバーと一体となった利活用策が必要。

②ゴミの問題

- とにかく汚く、漂着ゴミが多い。
- 「観光」を考える上では切り離せない問題。
- フェリーから見える風景は素晴らしいが近づくると汚い。
- 漂着ゴミ、ポイ捨てゴミなど整理して考える。

【全体】

- ・全市を含めポイ捨て禁止条例を策定して欲しい。
- ・大雨、台風時などの漂着ゴミは行政ですみやかに撤去できるように予算などの措置をして欲しい。

【餅ヶ浜】

- ・特に餅ヶ浜地区においては大きな課題となる。

③安全性、治安の問題

- スパビーチの休憩施設など、市民が近づきにくい場所もある（ホームレスの問題、破壊行為等）。
- 「～してはいけない」という看板が多く窮屈である。

【全体】

- ・障害者への対応を全ての場所で考えて欲しい。
- ・親水性について、すべての場所で水に接することが可能というよりは、強弱をつけての整備が必要である。

④海岸利用に対する期待

- 親しまれる海岸への変身（キャッチフリーズなど）。
- ビーチ管理人等、ビーチの仕組み作りが必要。

【全体】

- ・海岸を管理・運営する組織を時間をかけて育成していく仕組み作りが必要である（地域を中心としたメンバーによる指定管理者となるNPOの立ち上げ）。
- ・交流の拠点になるような空間として位置づけ、自主的、ボランティア的な関わりを作り上げる。
- ・法や条例の観点から出来ることを整理して欲しい。
- ・自分たちの海洋（庭）だという意識を持たせる。
- ・親しまれる海岸にするため子供たちの海に対する親しさの心を養う必要がある。
- ・学校関係者にも積極的にワークショップの参加を呼びかける。
- ・市街地ー海岸、海岸相互の導線確保（駐車場、駐輪場、案内板、自転車道等）

【餅ヶ浜】

- ・レンタルサイクルの整備。

【北浜】

- ・平場でのイベントが出来る場所を作るのは良いと思う。
- ・親水性を生かし、海へ降りられる箇所を造る。特に北側のゆるやかな傾斜には必ず階段をつける。
- ・一般の人がもっと気軽にヨットに乗れるような教室等の開設、グループの組織化。

⑤イベント等における取り組み

- イベントを実施しルール・マナーの啓発を行っている。
- 地域通貨の活用。
- 国体会場にもなる北浜ヨットハーバーの活用。

【全体】

- ・各地区ごとに特色のある遊び、イベントを行えるようにして欲しい。
- ・広範囲な空間を使用するイベントを想定したデザインの議論が必要である。

【餅ヶ浜】

- ・サンライズコンサートを実現してほしい。

⑥その他

- 朝日の素晴らしさが特徴的である。
- 国際都市（外国人観光客が40ヶ国から約17万人）
- ボランティア意識が高い（老人会、APU学生等）

【全体】

- ・景観条例を制定して欲しい。
- ・工事完了、供用開始の時期を明確にして欲しい。
- ・海での遊び方を知らない人が多い。
- ・海のスポーツに関する店がない。

【餅ヶ浜】

- ・遊具等の設置については十分検討して欲しい。（子供にとって本当に必要なものか？）
- ・10号線から東側の施設の高さを制限する。
- ・緑地背後のレストランやカフェ等の施設整備の促進（補助制度など）

【北浜】

- ・旅館やホテルとの連携による利用の方法。
- ・背後の宿泊施設の独自性による、それぞれのユニークな活用方法を検討（統一すべきではない）
- ・観光客の長期滞在を促進するため、どの宿泊施設の温泉にも入っていいようにする。
- ・トイレ、売店、温泉等宿泊施設の施設の有効活用。



環境学習の様子（関の江海水浴場/平成18年7月）



海岸清掃の様子（上人ヶ浜地区/平成18年7月）



地引き網体験（関の江海水浴場/平成18年5月）



検討対象地域（別府港海岸）



餅ヶ浜地区の将来整備イメージ



北浜地区2の将来整備イメージ